



優 秀 賞



①緑のコーディネーター養成講座修了式 ②養成講座現地見学 ③花の仲間たち ④植物愛香会「カモミール」
⑤大濠公園フラワーメイト ⑥わたしの木 ⑦フレンドホームでの講座 ※黄色のエプロン又はベストを着ている人が緑のコーディネーターです。

市民による公共空間の緑化推進 ～福岡市緑のコーディネーター～

株式会社アーバンデザインコンサルタント
大杉哲哉・堤八恵子・棚町修一・小峯 裕
福岡李奈・安部あすか・江上陽菜

緑化フェアが残したもの

「福岡市緑のコーディネーター」とは、市の施策や、地域、学校、企業等の緑化のけん引役である市民ボランティアの総称です。平成17(2005)年の「第22回全国都市緑化ふくおかフェア」の運営を支える市民ボランティアを起源とし、フェア後も、ふくおかの花・みどりのまちづくりを支援してもら

う、市長認定の資格として創設し、現在253名(1期生～9期生)が活躍しています。

“花・みどり”をツールとしたまちづくり

緑のコーディネーターは、各自の得意なことを活かして活動しています。例えば、花好きな人を集めて花壇を作ったり、ハー

作品概要

作品名—— 市民による公共空間の緑化推進
～福岡市緑のコーディネーター～
対象地—— 福岡県福岡市
目的—— 福岡市の一花運動のけん引役である市民ボランティア「福岡市緑のコーディネーター」を養成し、“花・みどり”で「共創のまちづくり」の推進を支援すること。
体制—— 福岡市緑のまちづくり協会及び福岡市一人一花推進課の緑化推進を支援。当社は、緑のコーディネーターの養成、スキルアップ等の人材育成プログラムの企画、運営等を担当。
体制—— 福岡市緑のまちづくり協会
体制—— 平成23(2011)年5月～令和2(2020)年3月

作品評

福岡市において、市民ボランティアである「緑のコーディネーター(緑コ)」を養成し、“花・緑”で「共創のまちづくり」の推進を支援する事業に、平成16年度から長く取り組んでいる。緑コは、福岡市の緑化施策をけん引する市民ボランティアであり、253名が活躍している。福岡市が目指す「共創のまちづくり」の主体を担っている。福岡市からは、主体的に活動できるリーダーの育成、受講者の増加、緑コのスキル向上、緑化団体のメンバーの固定化や高齢化対策等、の諸課題の解決を要請されている。これらの要請に対して、解決策を提示し、それを着実に実践している。自治体にとって、実に頼もしい存在である。
応募文書がきわめて読みやすいことに好感を持った。ボランティア育成という業務において、市民にとってわかりやすく、読みやすい文書づくりを心がけていることがうかがえる。市民を共鳴させ、市民を動かすことのコツを熟知している者の為せる技であろう。



⑧ふくおか花と緑の連絡会 ⑨早良病院花壇作成 ⑩⑪舞鶴公園フラワーボランティア ⑫弥永西公民館プリザーブドフラワーアレンジ ⑬早良公民館寄せ植え
⑭一人一花華しるべ ⑮一人一花ハッスル隊 ⑯一人一花サミット「エコ鉢」

バリウムやスワッグの講座を行ったり、里山保全活動をしたりと、福岡のみどりを守り、増やし、市民の皆さんにみどりを伝え、仲間とともにみどりを学ぶ活動をしています。

福岡市は平成30(2018)年から「一人一花運動」を始めました。これは、市民・企業・行政一人ひとりが、公園や歩道、会社、自宅など、市のありとあらゆる場所での花づくりを通じ

て、人のつながりや心を豊かにし、まちの魅力や価値を高める取組みです。市が目指す「共創のまちづくり」を市民が主体となって形作っており、その中心を緑のコーディネーターが担っています。